



# SHALOM-NETWORK



発行：NPO 法人シャローム事務局

〒960-1241 福島県福島市松川町字東原 17-3  
TEL / FAX 024-567-5322Web <http://www.nposhalom.net>  
E-mail [info@nposhalom.net](mailto:info@nposhalom.net)

発行責任者：大竹 純子

## 東日本大震災・原発災害を乗り越えて！

まちなか夢工房は、十月二十七日で8周年を迎えます。これに先立ち、今回の福島市よりの委託事業となつています。障がい者コミュニケーションサロン「まちなか夢工房」が、入札方式からプロポーザルの市民提案型公募事業となり、十月六日に保健福祉センターでプレゼンテーションが実施

を行いました。これまで多くの障がいを持つ人たちが働き、店を訪れ、その都度本人や親たちの悩みについて相談に応じてきました。この日は、定期的な相談日を設け、希望があれば専門分野別の相談員の検討もしていければと考えてい



されました。開設から店長を務めてきた齊藤巧店長を中心に企画提案を説明し、これまでの実績が高く評価され、今後3年間の継続が確定いたしました。まちなか夢工房の新たな出発に当たり、力を入れている事業として、障がい者就労支援の機会の拡充を目的し、定期的な相談会

まちなか夢工房  
8周年を向かえプロポーザル

ます。益々重要な事業が求められています。スタッフのみなさんと力を合わせ、一歩一歩実現に向けて前進していきたいと思えます。みなさんのますますのご支援をお願いいたします。

今年も10月27日は、8周年記念感謝セールを行います。パンの半額セール、お楽しみくじによる豪華商品プレゼントなど楽しい企画を用意してスタッフ一同みなさんの来店をお待ちしています。



(写真は7周年のときのものです。)

10月に入ると秋の色が日に日に深まっていく。稲穂は夏の緑から黄色に色づき穂をたれている。稲刈りを終えた田圃には、杭にかけられた稲穂が並ぶ。山の上から木々も色づき始め、一日一日寒さが増してくる。秋祭りの季節である。今年も例年通り行われている。しかし、なぜか、例年通りであるはずなのに、何か違うように思える。

今年の米は例年にならない良くてきたという。しかし、安心して食べられるのか。放射能汚染させた土地で農業が続けられるのか。3月11日の大震災、原発事故、7ヶ月を経過し、汚染された土地で始めての米の収穫が行われ、その始めての結果が出てきた。各地での検査結果がニュースで流れる。検出されませんでしたが、基準値以内で安心して食べられます。土壌汚染と作物への影響はどうなったのか。基準値以内と言われる作物を食べるときに、どのような加工法を工夫すればより数値を下げる事ができるのか。

汚染地域となつてしまった福島で生活を続けるためには、身近な対策を具体的に積み上げていくことが大切となっている。福島市の自然の恵みを守っていくためにも。

命のつぼみ

## 涼風コンサートに参加して

畠田 汐里

九月二十四日の土曜日夕方六時から、レストラ「風の谷」を会場に、シャローム主催のインド古典音楽コンサート「涼風コンサート」が開催されました。私も参加する機会をもちました。レストラン「風の谷」は国道四号線を二本松方面へ進み、旧四号線との交差点にさしかかった見晴らしの良い高台にあるカフェ、洋食レストランです。

レストランに着いてから実際に演奏が始まるまでは少し時間があり、その間にゆったりとした気分です。コース料理を楽しみました。メインディッシュと一緒に出てきたパンはまちなか夢工房でコンサート前に焼かれたもので、ふっくらとした食感とかながみ魚介類中心の料理とたいへんマッチしていました。

レストランについて少し離れた場所に設置された小型のステージには見たことのない不思議な形をした楽器が並べられ、演奏へ向けた準備が進んでいました。ネックがとて長いギターのような形をしていて、重そうな楽器（シタール、それよりも少し細く、同じような形をした楽器（タンブラ、大小異なる形をした太鼓（タブラ）など。演奏が始まる前からどんな音色が出るのだろうと期待が高まりました。

おなががいっぱいになり、食後のお茶もいただいたところ、インドの民族衣装である白い衣服（クルター・バジャマ）に身を包んだ演奏家の伊藤さん、森山さんが入場してきました。どこか修道者のような特別な雰囲気を感じます。演奏者の皆さんの登場に会場はシンとしました。演奏者の伊藤さんが冗談交じりに「どうぞぞりラックスしてください。これから演奏する音楽はクラシックのようかしら。こまった雰囲気なかで聴くものではないませんと。皆さんに語りかけると、会場は再び打ち解けた雰囲気になりました。

裸足でマットの敷いてある演奏台上がり、ゆったりと座りこんだお二人は、それから伝統楽器を使って様々な曲を奏でて下さいました。シタールはその音色を聴いただけでインドのオリエンタルな景観や文化を連想させるような大変印象的な音色でした。曲目も、ゆったりとインドの自然を表す曲、明るく賑やかで人々の暮らしを連想させる曲、夕暮れを表現した少し物悲しい曲とレパートリーも多々あり、途中からボーカル兼タンブラ奏者の伊藤さんも参加して日本語の歌詞をつけたオリジナルの曲も披露されました。たいへん癒された至福のひとときとなりました。

## ◆演奏者紹介

## 伊藤 公郎

シタール  
一九九七年からインドで修業を積み、一九八五年に帰国。日本各地でインド古典音楽の演奏活動、オリジナル曲の創作等、精力的に活動している。

## 伊藤 美郷

ボーカル、タンブラ  
一九七四年に世界旅行にでかけ、旅の経験や信州の自然をもとに一九九〇年より詩を書き始める。

## 森山 繁

タブラ  
一九九六年よりインドで修業し、二〇〇二年に帰国。現在は日本全国でインド古典音楽の音楽活動をしておこなっている。

## 佐藤智美さん パラリンピック競技大会で入賞

日本障害者スポーツ協会日本パラリンピック委員会主催による2011年度ジャパンパラリンピック競技大会が先月開催され、まちなか夢工房スタッフの佐藤智美さんが陸上100m、200m走にエントリーした。智美さんは9月24日、25日に大分県市営陸上競技場において見事な走りを見せ、1位、2位入賞という輝かしい記録を残した。結果は100mが13秒92で2位。200mが28秒95で1位だった。

(以下本人談)

コンディションは、パッチリだった。風のように走れたので気持ちよかった。自分ではスタートダッシュに自信があったのだが、急につまってしまい、うまくスタートが切れなかった。

この大会で、いろんな課題がたくさんあることに気付かされた。今後は少しずつその課題をクリアしていきたい。

今回、応援してくださったシャロームの皆さん、夢工房の皆さん、本当にありがとうございました。



# ◆全国支援者様

全国からのご支援感謝いたします！

○ジュノーの会 甲斐等様と会の皆様(広島県)

「梅ドミ」(梅干、ドクダミ、味噌)を中心に、入浴剤や漢方貼剤もお送りいただいています。代表の甲斐様は八月の地元学に講師として福島においでになり、今の福島に住むことの危険性、広島の方々の知恵と実践をお話くださいました。十月十四日には相談会を開いてくださいました。

○福山市立一ツ橋中学校 ボランティア(三年生)

「For Smilie」の皆様(広島県)

全校生徒に呼びかけ、折鶴と美しいメッセージを集めてくださいました。十二月開催予定の「ひまわり感謝祭」で披露させていただきます。

○綿農志塾 戸松正様と塾の皆様(栃木県)

毎週、畑からとれた季節の野菜を送り続けてくださっています。野菜は現在、飯館村や双葉町の仮設住宅の皆様へ食べていただいています。代表の戸松様は、全国有機農業研究会の機関紙「土と健康」誌上で、「余剰野菜を福島に送ろう」と呼びかけてくださいました。

# ◆感謝とご紹介

○魚住農園 魚住道郎様(茨城県)

戸松様の呼びかけに応え、野菜や卵をお送りくださっています。

○鈴木農園 鈴木良一様(茨城県)

戸松様の呼びかけに、え、たくさん野菜をいただいています。

○山崎万里様、枚方・食品公署と健康を考える会の皆様(大阪府)

「やさしいの会」機関紙にいつも私たちをご紹介いただき、機関紙の中にシャロームネットワークの記事を抜粋で掲載してくださいました。

○樋口千里様と和食研究会の皆様(奈良県)

万里様のお姉様。研究会では旬の野菜を中心に和食の研究をされており、会の若いお母様方がカンパ金をお送りくださいました。

○喜林堂 中山太一・恵美子様(茨城県)

四ツ目屋 中山博紀・円様(茨城県)

沢山の食器を中心に、洗濯機やレンジなども頂きました。

あづまの体育館に避難されておられた方々、双葉の仮設住宅の方々に届けました。希望される方にお届けできる体制をとっています。

# UDセンター被災

## そして移転へ



被災したUDセンター

三月十一日に起きた大震災により、県内の多くの施設が被災しました。が、当法人のUDセンターもまた、大きな被害をうけました。当時建物内で事務作業をしていた私たちは、突如携帯から鳴り響いた緊急地震速報のアラームに驚くまもなく、襲ってきた揺れに危険を感じて窓から飛び出しました。立つこともできないほどの揺れにさらされ、駐車していた車にしがみついていた私たちは、菱形に歪み、壁が崩落し、今にも崩れんとするUDセンターをただ呆然と見守るしかありませんでした。

その後1ヶ月続いた強い余震でもセンターが完全に倒壊することはありませんでしたが、もはや再び使用できる状態でないのは明らかでした。

共に生きる仲間たちのコンサート『ひまわり感謝祭』開催準備開始

今年は大震災・原発事故と大変な年となりました。特に原発事故は、放射能被害の危険が今も続いています。福島市民の不安は続いています。このような中であって、県外各地からの力強い励ましや支援が寄せられました。その象徴的なものに「ひまわり」の花の種を送るプロジェクトがありました。

私たちは、これらの多くの人たちの気持ちに込めるといふ意味を込め、毎年シャロームが開催しているコンサートイベント「共に生きる仲間たちのコンサート」の主題を「ひまわり感謝祭」とし、開催することといたしました。

映画上映、ひまわり写真展など多彩な内容となっております。ぜひふるってご参加ください。当日は多くのボランティアの方の協力も必要となります。みなさんの参加をお待ちしております。



現在のUDセンター

〈UDセンター新住所〉  
福島市渡利  
鳥谷下町六七一

共に生きる仲間たちのコンサート『ひまわり感謝祭』  
会場：旧さくら野ビル4階 AOZ  
日時：2011年12月18日(日)  
＜イベントの内容＞  
・第15回「共に生きる仲間たちのコンサート」  
・映画「大地の詩—留岡幸助物語」：孤児のための学園を北海道の大地で実践した留岡 幸助の生涯の映画化。人のあり方を現代に問いかける感動作。山田火沙子監督作品  
・ひまわり写真・絵画作品展及び表彰式  
・NPO活動団体等活動紹介コーナー  
・授産製品等展示販売



## 活動のご報告

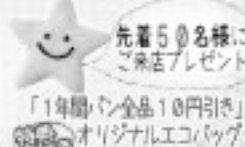
- 9月15日 門前市
- 9月17日 もちずりワーク10周年記念会
- 9月23～25日 日全国障害者スポーツ大会  
大分大会出場 佐藤智美さん  
100m走…第2位、200m走第1位
- 9月23日 とっておきの音楽祭 in ふくしま
- 9月24日 涼風コンサート  
インド古典音楽シタール演奏 60名  
菊の里まつり 2名
- 9月29日 農作物・農地放射能関連説明会
- 10月1日 福島市健康フェスティバル出店 2名
- 10月2日 シャローム水田、稲刈り 27名
- 10月6日 障がい者コミュニティーサロン運営事業  
5名  
プロポーザルプレゼンテーション
- 10月8日 大波地区健康相談会「梅ドミサロン」  
2名
- 10月8～10日 福島市飛行協会競技会出店  
延15名
- 10月10日 虹色フリーマーケットへ出店 2名

## 活動予定

- 10月12日 介護福祉専門学校「梅ドミサロン」
- 10月14日 健康相談会「梅ドミサロン」
- 10月15・16日 飛行協会「りんご祭」出店
- 10月16日 あづまケアフォーラム出店
- 10月17日 飯舘村仮設住宅「梅ドミサロン」
- 10月22日 第94回地元学を考える  
「ここは戦場なるぞ」  
講師 村野井幸雄さん
- 10月26日 飯舘村仮設住宅「梅ドミサロン」
- 10月27日 まちなか夢工房8周年記念イベント
- 10月30日 杉妻学習センターまつり参加
- 10月31～ 福島市立養護学校実習 1名  
11月18日
- 11月7～18日 いわき養護学校実習

感謝を込めて今年もやります！オープン8周年記念！

## パン全品半額セール!!!



年に1度の  
2011.10.27(木) 1日限り!

店内の全ての焼き立てパンがレジにて半額!!!  
人気のパンはすぐに売り切れ! 午前中のご来店がおススメ!

店内のパン全品

半額セール!!!

開催!!!

10月27日(木)

先着50名様にご来店プレゼントを  
ご用意しております。

さらに! お楽しみ抽選会も!!



「楽膳」シリーズに新しい仲間  
が加わりました。カラフルな漆  
塗りのお箸「ともはし」です。

<http://www.raku-zen.net>


「人は、誰かを支えている時には、自分のことばかり考えるけれど、実は相手からどれだけ恵みを受けているかは、気づかないものだよ。」

日本の知的障害者福祉の創始者である石井亮一の言葉だ。私も障がいのある仲間たちと接しているとき、ふとした拍子にこの言葉の真理に気づかされるときがある。純然たる善意のつもりで彼らと接するときも、実はそれが単なる押しつけであることを思い知るのだ。(来月号に続く) R.A